

こころ育てる絵本との出会い

まが'ちゃん通信

2011 8 - 9 vol.

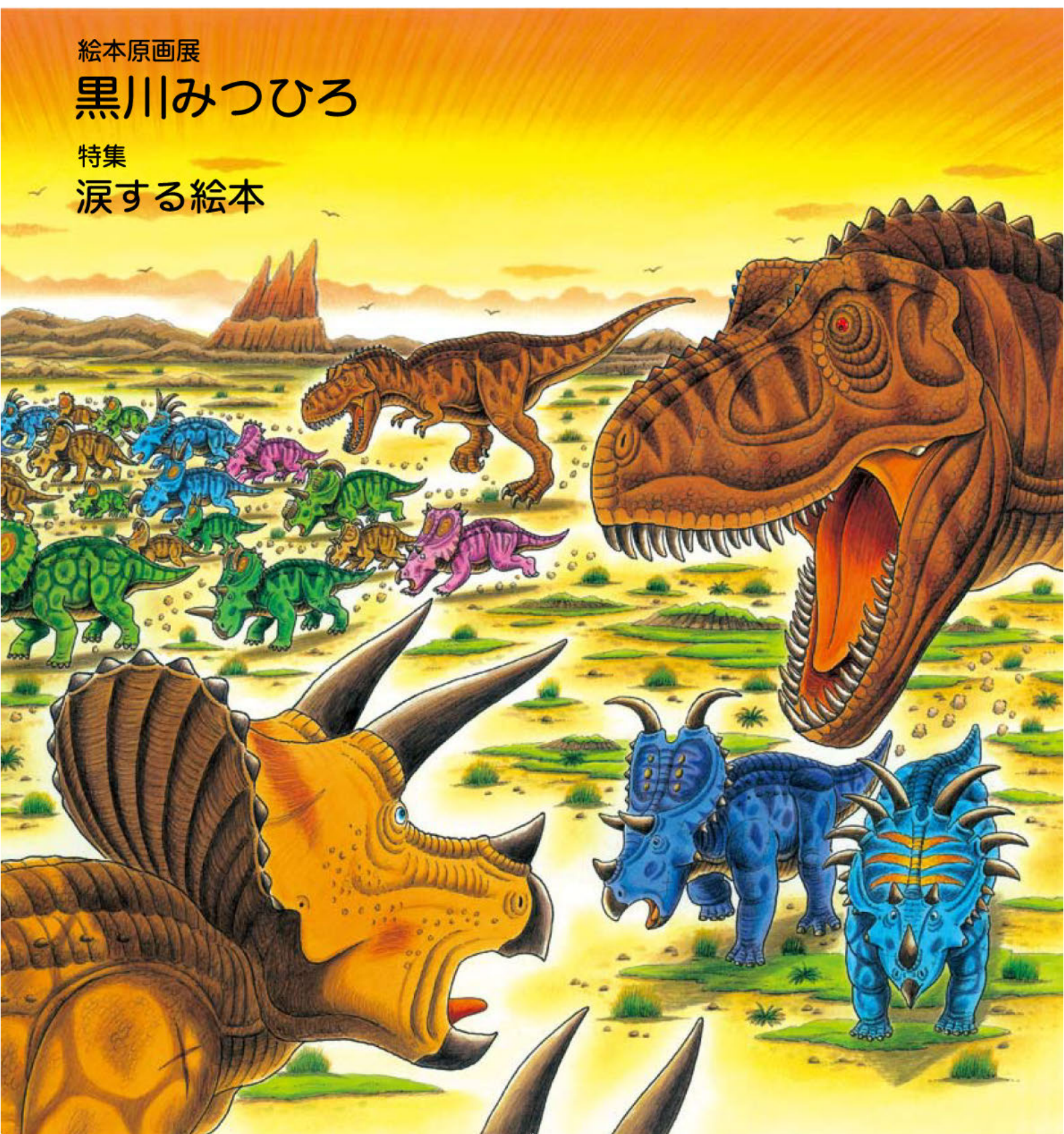
9

絵本原画展

黒川みつひろ

特集

涙する絵本



くろかわ
黒川 みつひろ



黒川みつひろ(くろかわ みつひろ)プロフィール

1954年大阪市生まれ。大阪市立美術研究所で絵を学んだ後、イラストレーターに。1987年『絵巻絵本・恐竜たち』(こぐま社)で絵本作家デビュー。1988年カナダに恐竜化石発掘に行く。1991年に『恐竜の谷』(こぐま社)を刊行。1992年からトリケラトプスを主人公にした『恐竜の大陸』シリーズ(小峰書店)をスタート。以後『たたかう恐竜たち』シリーズ、『恐竜図解新事典』、『恐竜あいうえお』(以上小峰書店)など、数多くの恐竜絵本を刊行する。子どもたちと恐竜の話をするのが好きで、各地で講演、原画展、ワークショップなどの活動も行う。

ブログ「恐竜だいす記!」 <http://blog.goo.ne.jp/jura2007/>

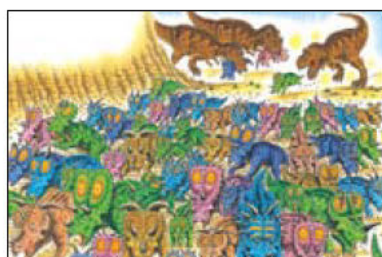
どんな生き物にもその一生には
いろんなドラマがあります。
生きること、生命の大切さと、恐竜を生み出した
地球の自然の不思議さ、おもしろさを
感じてもらえたいです。

絵本原画展開催

7月30日(土)～9月29日(木)



『恐竜の谷』(こぐま社)



『恐竜トリケラトプスと
決戦赤い岩』(小峰書店)

原画展示絵本

今年の夏は、恐竜絵本を楽しもう！

ギャラリーでは、新刊『恐竜トリケラトプスと決戦赤い岩』

『恐竜の谷』の2冊の絵本原画をご紹介します。

黒川みつひろ先生に

インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

子どものころから恐竜が大好きでした。大人になり、イラストレーターになって、子ども向け科学雑誌のイラストなどを書いていましたが、恐竜絵本のアイデアをあためて「こんな絵本はどうでしょう？」と出版社に持ち込んだところ、出版することができました。当時恐竜の絵本は他にはなく、子どもたちから良い反響があったのが、とてもうれしかったです。

画材は何を使っていますか？

主に水性の色鉛筆とカラーインクで描いています。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や、思い出を教えてください。

『恐竜トリケラトプスと決戦赤い岩』はツノ竜の群れを襲うティラノサウルスと、ツノ竜を助けるトリケラトプスが戦うという設定を以前から考えていました。困難に出会っても決して逃げない勇敢なトリケラトプスが私も大好きです。

『恐竜の谷』はカナダの発掘地で発掘作業を手伝ったとき、その地で想像をめぐら

せて作ったのがこの絵本です。白亜紀の自然を描いた原画の美しさをぜひ見ていただきたいです。

恐竜絵本を通して伝えたいことは？

どんな生き物にもその一生にはいろんなドラマがあります。生きること、生命の大切さと、恐竜を生み出した地球の自然の不思議さ、おもしろさを感じてもらえればうれしいです。

今まで手がけた絵本の中で一番印象深い絵本を教えてください。

すべての作品が印象深いです。如果说今回出品の初期の作品『恐竜の谷』かな？カナダでの取材から完成まで、3年の歳月がかかりました。じっくり時間をかけたぜいたくな作品です。

絵本をお作りになるときのこだわりは？

何度も読み返し、そのつど新しい発見がある絵本。恐竜だからといってマニアックにならず、初めて恐竜絵本を見る子どもたち、お母さんたちにもわかりやすく親しめる絵本をめざしています。

今後どのような絵本を描いていかれますか？

具体的には、白亜紀の自然をバックに、

トリケラトプスの子どもたちの冒険をテーマにした、ゆかいな物語を考えています。

ご興味についてお聞かせください。

二十代のときは自動二輪車での旅行。北海道や九州にも行きました。三十代では化石の発掘。今は食べ歩きかな？

好きな言葉を教えてください。

「自然」です。大きな意味を持つ言葉ですが。それと、復興の言葉「一歩ずつ前進」です。



被災地の子どもたちへの
応援の色紙

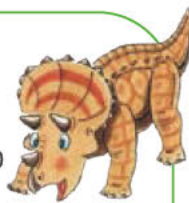
ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

恐竜が大好きな皆さんへ、恐竜は昔の地球の自然の中から生まれました。ですから恐竜が好きだということは地球の自然が好きだということにほかなりません。皆さん、このままずっと恐竜を好きのままいてください。そして自然を大事にする大人に育ってってください。

黒川みつひろ先生、ありがとうございました。

親子で楽しむお話し会 「恐竜博士になろう！」

日時 8月21日(日) 13:30～15:00
場所 射水市大島絵本館シアター



黒川みつひろ先生が絵本館にご来館されます。恐竜についてのお話や絵本の読み聞かせをしていただきます。巨大な絵巻絵本も登場！最後には「恐竜博士認定証」がもらえます。トーク終了後にはサイン会もあります。



『恐竜の谷』(こぐま社)

黒川みつひろ先生 サイン入りの絵本を 3名様にプレゼント

応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283
射水市鳥取50 射水市大島絵本館
黒川みつひろサイン本プレゼント係
締め切り 平成23年9月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



新川 絵里
射水市大島絵本館 指導員

特集 / 涙する絵本

心揺さぶる絵本との出会い

絵本を読んでいて、思わず涙してしまっ
たことはないでしょうか。

ライブラリーの担当になって3年あまり。
選書の作業をするなかで、私はそんな絵本
に何冊も出会いました。手を止めて、涙を
拭わなくてはならなくなったことも、一度
や二度ではありません。

私には大切にしていく絵本があります。

*

『おおきな木』：原題は『THE GIVING
TREE』。今から四十年以上も前にアメリ
カで出版され、今も世界中で親しまれてい
ます。この絵本をはじめて読んだとき、男
の子の気持ちの変化にかかわらず、りんご
の木が注ぎつづける無償の愛に感動して涙
が流れました。しかし、数年が経って読み
返した時、違った捉え方をしている自分
に気付きました。犠牲的なりんごの木の愛
が、結果的に男の子を自分勝手な性格にし
てしまったのではないかと。そして物語の
終わり、互いにすべてをなくして、ようや
く寄り添えたりんごの木と男の子の姿に、
切なさとともに涙がこみあげてきました。
ひとりの人間が同じ絵本を読んでも、
積み重ねた経験や、その時の気持ちによっ
て、涙する理由は変化していきます。まし
て人が違えば、それぞれ数え切れないほど

の理由があるはずです。

*

「涙する」とは、心を強く揺さぶられる
ことです。数え切れない絵本の中から、そ
の人の、そしてその時の心を揺さぶる一冊
に出会えることは、滅多にない、とても幸
せなことではないでしょうか。そして、涙
を流したあとに訪れる、すっきりとした心
地よさ。それは心が喜んでる証なのかも
しれません。

*

絵本は、選び抜かれた短い言葉と絵を同
時に読み、見ることが出来ます。そのため
子どもはもちろん、大人も身構えずに作品
に込められた想いを受け止めやすいのかも
しれません。

涙する絵本に出会えたときは、ぜひその
一冊を大切にしておきたいと思っています。子ど
ものときに出会えたなら大人になってから
大人ならば時を経て、ぜひもう一度その絵
本を開いてみてください。きっと全く違っ
た感じ方をすると同時に、その絵本をはじ
めて読んだ当時の心の動きが、アルバムを
めくるように甦ってくると思います。

さあ、気になる絵本を手にとってみてく
ださい。それがあなたの「涙する絵本」か
もしれません。

私のおすすめ絵本

『おにたのぼうし』

あまんきこ／作
いわさきひろ／絵
ポプラ社



節分の夜、黒おにのおにたはお母さんを看病する女
の子の家へ逃げ込みますが…。切ないけれど暖かい
気持ちになる絵本です。

『くまとやまねこ』

湯本香樹実／作
酒井駒子／絵
河出書房新社



なかよしのことりを亡くしたくまが、やまねこ出会う
死を受け止めていくさまを優しく描いています。

『おおきな木』

シェル・シルヴァスタイン／作・絵
村上春樹／訳
あすなろ書房



りんごの木が、男の子に自分のすべてを尽くして愛を
捧げ続ける物語。さまざまな読み方ができる一冊です。



『ペンキや』
梨木香歩／作 出久根育／絵
理論社
職人の道、親子の繋がりが…
こんな人生が送れたら幸せです。



『とげとげ』
内田麟太郎／文 佐藤茉莉子／絵
童心社
恋をしている人に、これから恋する人にも！



『ぼく、あめふりお』
大森裕子／作・絵
教育画劇
出会う、別れるけれど、
大好きな気持ちは消えない。



『いつか、きっと』
ティエリ・ルナン／作 オリヴィエ・タレック／絵
平岡敦／訳 光村教育図書
世界を見つめる子どもの瞳。
最後の一行に、はっと胸を衝かれます。